

DVDP-IX4V/IDEセットアップガイド -パソコンと接続してお使いの方へ-

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本書は、新しく簡単なインストールの方法と、DVDP-IX4V/IDEによるWindows98/95 の再セットアップ方法を説明しています。

[目次]

簡単インストー	ル	1
Windows98/95 0	再セットアップについて	4
確認事 項		4
バックアップ	の取り方	5
作 業例		6
Panason i c	Let's note CF-S21J8,CF-S21J5,CF-M32J8	3,
	CF-M32J5	6
NEC	LaVie NX LW20/4DA, LW20/42A, LW23/43	BC,
	LW20/42C, LW20/4DC, LB20/40	ЭА,
	LT23/44A	8
SHARP	Mebius PC-PJ1, PC-PJ1-98, PC-PJ1-M2	10
日本 IBM	ThinkPad 235(モデル 2607-10J)	12
日本 IBM	ThinkPad 310E (モデル 2600-EOJ)	16
日本IBM	ThinkPad 560Z(モデル 2640-9YJ)	19
SONY	VAIO PCG-505, PCG-505X, PCG-505EX,	
	PCG-505G, PCG-505GX, PCG-505R,	
	PCG-505RS, PCG-505RX	22
東芝	DynaBookSS 3000, 3010, 6000	25
作業例にな	い機種の場合	27

38763-01

簡単インストール

この手順を行えば、DVDP-IX4V/IDEのWindows98/95へのインストールが簡単に 行えます。



Windows98/95を起動します。

インストール前の確認を行います。

DVDP-IX4V/IDE取扱説明書の「必要なシステム構成」(P15)~「デバイス・ ドライバをインストールする前に」(P18)を見てインストール前の確認を 行います。

「デバイス・ドライバのインストール」以降には進まないでください。

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を挿入します。

『Ddsetup.exe』を起動します。

『マイコンピュータ』 『3.5インチFD』 『Win9x』 『Ddsetup.exe』の順に ダブルクリックします。



[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



ドライバを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

インストールするドライバを選択します。

で設定したDVDP-IX4V/IDEの動作モードと一致するものを選択します。

動作モードが「CardBusモード」の場合

[IBM IDE Super PC-Card(32Bit)]

動作モードが「16bitモード」の場合

[IBM IDE Super PC-Card(16Bit)]

選択後、[OK]ボタンをクリックします。インストールを開始します。

[OK]ボタンをクリックします。

インストール終了画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。 インストールは終了しました。

DVDP-IX4V/IDE取扱説明書をお読みください。

DVDP-IX4V/IDE取扱説明書をご覧になり、取り付けなどを行います。 ただし、インストール作業は終了しておりますので、「パソコンをセット アップする」(P15~P31)の部分は読み飛ばしてください。

Windows98/95の再セットアップについて

ここではDVDP-IX4V/IDEによるWindows98/95の再セットアップ方法を、いくつかの機種を例に挙げて説明しています。

確認事項

1)ここでは、Windows98/95上で再セットアップディスクの作成を行った後に、
 再セットアップを行う方法を説明しています。

必ず、Windows98/95が稼動する状態で作業を行ってください。

- 2)再セットアップディスクの書き換えを行う場合には、必ず再セットアップ ディスクのバックアップをとり、以後作成したバックアップディスクをお使い ください。
- 3)DVDP-IX4V/IDEを再セットアップ目的で使用される場合は、<u>必ずDVDP-IX4V/IDE</u> <u>のスイッチを16bitモードにしてご使用ください。</u>(下図参照)

詳しい方法については、DVDP-IX4V/IDE取扱説明書の【 動作モードの切り 替え】(P15)を参照してください。

CardBusモードで使用する場合は、再セットアップ後にDVDP-IX4V/IDE取扱説明書 を参照し、設定を行ってください。



バックアップの取り方

再セットアップ作業に使用する起動ディスクなどは必ずバックアップを取り、 バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。 (以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。)

フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

コピーしたいフロッピーディスクを書き込み禁止にします。

コピーしたいフロッピーディスクをパソコンに挿入します。

[ディスクのコピー]を行います。

[マイコンピュータ]内の[3.5インチFD]アイコンを右クリックし、表示 されたメニューから「ディスクのコピー」をクリックします。

[開始]ボタンをクリックします。

🍇 ディスクのコピー	? ×
北*-元(E):	ııt°−先(I):
回3.5インチ FD(A)	□351)チFD (A)
	開始S 開じる(C)

メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

コピーしたいフロッピーディスクと空きフロッピーディスクをメッセージ にしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

作業例

Panasonic Let's note CF-S21J8,CF-S21J5,CF-M32J8,CF-M32J5

注意 再セットアップを行うには、「ファーストエイドD」と「CD-ROMセットアップ 起動ディスク」が必要です。 作成方法についてはパソコン本体取扱説明書を参照してください。 <u>また、「ファーストエイドD」と「CD-ROMセットアップ起動ディスク」はバック</u> <u>アップをとり、バックアップディスクをお使いください。</u> バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照 してください。

パソコン本体にフロッピーディスクドライブを接続します。

「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を書き込み可能な状態にして、 フロッピーディスクドライブに挿入します。 その後、パソコン本体の電源を入れます。

画面のメッセージに従って、"3.その他のCD-ROMドライブ"を選択します。

MS-DOSのプロンプト(A:¥>)が表示されたら、フロッピーディスクドライブから 「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を抜き、[ALT]+[Ctrl]+[Del]を押して再 起動します。

Windows98/95が起動したら、フロッピーディスクドライブに「CD-ROMセット アップ起動ディスク」を挿入します。

『スタート』 『プログラム』 『MS-DOSプロンプト』を起動します。

「CD-ROMセットアップ起動ディスク」内の一部のファイルを削除します。 以下のコマンドを入力し、

します。

DEL A:¥LF1500¥*.SYS

フロッピーディスクドライブから「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を 抜き、「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を挿入します。

[マイコンピュータ] [A:] [INSTFD]を起動します。

画面の指示に従って、「CD-ROM**セットアップ起動ディスク**」にデバイス ドライバを組み込みます。

INSTFDが終了したら、MS-DOSプロンプトを閉じます。

フロッピーディスクドライブから「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を 抜きます。

Windows98/95を "コル" 1-9の電源を切れる状態にする "で終了し、一度パソコンの電源を切ってください。

これで再セットアップ用「CD-ROMセットアップ起動ディスク」が作成されました。

パソコン本体に、DVDP-IX4V/IDE(動作モードを16bitモードに設定)を接続して ください。

以降はパソコン本体取扱説明書をご覧になり、再セットアップを行ってください。

注意

1)Windows98の再セットアップ時のモードはAPM(Advanced Power Management) モードをお使いください。設定の方法などについてはパソコン本体の取扱説明 書をご覧ください。
2)再セットアップの途中で"新しいハードゥェアの追加ウィザート、"が表示されたら、以下 の手順に従ってください。
" ハート ディスク コントローラ"を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
[ディスク使用]ボタンをクリックします。
フロッピーディスクドライプに、DVDP-IX4V/IDEサポートソフトを挿入し、
"配布ファイルのコピー元"を以下のように指定します。
A:¥WIN9X¥IDE16

(例:フロッピーディスクドライブがAの場合)
"IBM IDE Super PC-Card"を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
[次へ]ボタンをクリックし、もう一度[次へ]ボタンをクリックします。
[完了]ボタンをクリックしてください。

これで、DVDP-IX4V/IDE用のドライバ(16bitモード)がインストールされました。

NEC LaVie NX LW20/4DA, LW20/42A, LW23/43C, LW20/42C, LW20/4DC, LB20/40A, LT23/44A

井倉
 東セットアップを行うには、「システムインストールディスク(起動用)」が必要です。
 また、「システムインストールディスク(起動用)」はバックアップをとり、バック
 アップディスクをお使いください。
 バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照してください。

パソコン本体の電源を入れてください。Windows98/95が起動しましたら、 フロッピーディスクドライブに「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を挿入します。

[マイコンピュータ] [A:] [INSTFD]を起動します。

画面の指示に従って、「**システムインストールディスク(起動用)**」にデバイス ドライバを組み込みます。

INSTFDが終了したら、MS-DOSプロンプトウィンドウを閉じます。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』をクリッ クしてください。エクスプローラが起動します。

「システムインストールディスク(起動用)」内のCONFIG.SYSを編集します。

注意

[エクスプローラ]の[表示] [フォルダオプション]([オプション])内の、" ファイルの表示 " を " すべてのファイルを表示 " にしてください。

- 6-1 CONFIG.SYSを右クリックし、表示されたメニューから [アプリケーションから 開く]をクリックします。
- 6-2 "この種類のファイルを開く時は、いつもこのアプリケーションを使う"が<u>チェックされていない</u>ことを確認し、"このファイルを開くアプリケーション"にNotepadを選択し、[OK]ボタンを押してください。
- 6-3 CONFIG.SYSの以下の部分を書き換えてください。 REM DEVICE=A:¥RAMDRIVE.SYS 4096 /E(REM追加)

「システムインストールディスク(起動用)」内のAUTOEXEC.BATを編集します。

- 7-1 AUTOEXEC.BATを右クリックし、[編集]をクリックします。
- 7-2 "@ECHO OFF" 以外の全ての行を消してください。
- 7-3 "@ECHO OFF"以降に、以下の3行を書き加えてください。

A:¥SMARTDRV /X

A:\CDROM\SCDEX.EXE /D:PCMCD001 /L:Q

A:¥SYSRESTV

フロッピーディスクドライブから「**システムインストールディスク(起動用)**」を 抜きます。

Windows98/95を "コル² コータの電源を切れる状態にする"で終了し、一度パソコンの電源を切ります。

これで再セットアップ用の「**システムインストールディスク(起動用)**」が作成 されました。

DVDP-IX4V/IDE (動作モードは16bitモード(P4))を、パソコン本体に接続します。

フロッピーディスクドライブに「**システムインストールディスク(起動用)**」を挿 入します。

パソコン本体の電源を入れてください。DVDP-IX4V/IDEが認識され、再セット アッププログラムが起動します。

パソコン本体付属の「困った時のQ&A」を参照しながら、画面の表示に従って、 再セットアップを行います。

再セットアップが終わりましたら、付属のPCカードを抜き、パソコンを再起動 してください。

SHARP Mebius PC-PJ1, PC-PJ1-98, PC-PJ1-M2

パソコン本体に付属の「再インストール説明書」に従って、作業を進めます。
 "再インストール用の起動ディスクを作成する"まで進みましたら、24へお進みください。

2 パソコン本体に付属の「再インストール説明書」を以下のように読み替えます。

ற

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」をフロッピーディスクドライブにセット します。

DD

以下を入力し、表示される画面の指示に従ってください。

COPY IOIDE16.SYS B:

COPY IOXD400M.SYS B:

の「config.sysファイルに必要な情報を追記します。」の

[USER]の項目の「REM ここにお使いのCD-ROMデバイス名を記入して ください。」の下に、以下のように記入します。

DEVICE=A:¥IOIDE16.SYS

DEVICE=A:¥IOXD400M.SYS /D:PCMCIACD

がすべて終わったら、追加

autoexec.batファイルに必要な情報を追記します。

❶ EDIT AUTOEXEC.BATと入力し、⊒キーを押します。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されたら、 "3. USER SETTING"を選択して、**ノ**キーを押します。 「**再インストール説明書**」の手順 に進んでください。

3 以降は「**再インストール説明書」**に従って、作業を進めてください。



パソコン本体の取扱説明書内の手順番号は変更されている場合があります。

日本IBM ThinkPad 235 (モデル 2607-10J)

正定意
再セットアップを行うには、「Recovery CD-ROM Boot Diskette」が必要です。
また、「Recovery CD-ROM Boot Diskette」はバックアップをとり、バックアップ
ディスクをお使いください。
バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照
してください。

Windows98を起動します。

フロッピーディスクドライブに「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を挿入しま す。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』をク リックしてください。エクスプローラが起動します。

任意のドライブ(ハードディスク等)に"IODVDP"フォルダを作成します。

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」内の

IOIDE16.SYS

IOXD400M.SYS

を で作成した"IODVDP"フォルダヘコピーします。

___ 注意

[エクスプローラ]の[表示] [フォルダオプション]([オプション])内の、"ファイルの表示"を"すべての ファイルを表示"にしてください。

フロッピーディスクドライブから「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を抜き、 「Recovery CD-ROM Boot Diskette」を挿入します。

で作成した"IODVDP"フォルダを開き、中にあるファイルを[3.5インチ FD(A:)]アイコン上へコピーします。

「Recovery CD-ROM Boot Diskette」内のDRVLOAD.BATを編集します。

8-1 DRVLOAD.BATを右クリックし、表示されたメニューから[編集]を クリックします。 8-2 DRVLOAD.BATの":OBI" で始まる項目を以下のように書き換えてください。

:0B1

rem IBM PCMCIA CD-ROM 20x

@loadhigh %1dynaload %1CARDXTND.SYS >NUL

------(途中省略)------

rem Please modify 2 lines below this statement to use your own PCMCIA

rem external CD-ROM drive other than listed default CD-ROM drives.

REM @loadhigh %1dynaload %1PCMCD20X.SYS /I:9 /P:260 /D:PCMCD001 >NUL(REM追加)

@loadhigh %1dynaload %1IOIDE16.SYS >NUL (1行追加)

@loadhigh %1dynaload %1IOXD400M.SYS /D:PCMCD001 >NUL(1行追加) @call %1MSCDEX /D:PCMCD001 /L:Z >NUL

@if errorlevel 1 goto ERROR @call sleep 5 @goto exit

:0B12

rem IBM PCMCIA CD-ROM 4x

____ 注意

必ず":OBI"の項目に追加してください。

「Recovery CD-ROM Boot Diskette」内のMSGJP.DATを編集します。

- 9-1 MSGJP.DATを右クリックし、表示されたメニューから [アプリケーションから 開く] をクリックします。
- 9-2 "この種類のファイルを開くときは,いつもこのアプリケーションを使う"が<u>チェック</u> <u>されていない</u>ことを確認し、"このファイルを開くアプリケーション"にNotepadを選 択し、[OK]ボタンを押してください。

```
9-3 MSGJP.DAT内[AMethods] 項目の、
IBMPCMCD = "IBM PCMCIA 20x CD-ROM drive"
の行を、
IBMPCMCD = "I-O DATA DVDP-IX4V/IDE"
に書き換えてください。(以下参照)
[AMethods]
Internal = "Panasonic PCMCIA 20X CD-ROM (KXL-808AN)"
Internal2 = "Hot Swap"
IBMCDROM = "IBM external CD-ROM (Non-PCMCIA)"
rem
<u>IBMPCMCD = "I-O DATA DVDP-IX4V/IDE</u>" (書き換え)
Disctec = "Disctec parallel port CD-ROM"
```

Windows98を "コンピュータの電源を切れる状態にする"で終了し、パソコン本体の電源を切ります。

パソコン本体に、DVDP-IX4V/IDE(動作モードは16bit(P4))を接続してください。

装置構成ユーティリティの設定を行います。

12-1 パソコン本体を起動し、次のメッセージが画面の左上に表示されている ときにキーボードの[F1] キーを押します。

Press F1 for Configuration/SETUP

装置構成ユーティリティのメニュー画面が表示されます。

- 12-2 "デフォルトの設定をロードする"を選択し、 4キーを押します。
- 12-3
 12-3

 12-3

 12-3
- 12-4 "装置構成ユーティリティの終了"を選択し、 4キーを押します。
- 12-5 "設定を変更して終了する"を選択し、2キーを押します。

装置構成ユーティリティが終了します。

「IBM ThinkPad 235 **リカバリー**CD-ROM**の使い方**」に従って、作業を進めて ください。

次のメッセージ

CD-ROM Access Method:

Panasonic PCMCIA 20X CD-ROM (KXL-808AN)

I-O DATA DVDP-IX4V/IDE

IBM PCMCIA 4x CD-ROM drive

が画面の左上に表示されましたら、"I-O DATA DVDP-IX4V/IDE " の左側に ある" "をクリックして赤いマークをつけ、画面下部の[Next]ボタンを クリックしてください。

日本IBM ThinkPad 310E (モデル 2600-E0J)

再セットアップを行うには、「Windows95 始動用ディスケット」が必要です。 また、「Windows95 始動用ディスケット」はバックアップをとり、バックアップ ディスクをお使いください。 バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照 してください。

Windows95を起動します。

フロッピーディスクドライブに「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を挿入しま す。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』を クリックしてください。エクスプローラが起動します。

任意のドライブ(ハードディスク等)に"IODVDP"フォルダを作成します。

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」内の

IOIDE16.SYS

IOXD400M.SYS

を で作成した"IODVDP"フォルダヘコピーします。

注意

[エクスプローラ]の[表示] [フォルダオプション]([オプション])内の、"ファイルの表示"を"すべての ファイルを表示"にしてください。

フロッピーディスクドライブから「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を抜き、 「Windows95 **始動用ディスケット**」を挿入します。

で作成した"IODVDP"フォルダを開き、中にあるファイルを[3.5**インチ** FD(A:)]アイコン上へコピーします。

「Windows95 始動用ディスケット」内のCONFIG.SYSを編集します。

8-1 CONFIG.SYSを右クリックし、表示されたメニューから [アプリケーションから 開く]をクリックします。

- 8-2 "この種類のファイルを開く時は、いつもこのアプリケーションを使う"が<u>チェックされていないこと</u>を確認し、"このファイルを開くアプリケーション"にNotepadを選択し、[OK]ボタンを押します。
- 8-3 CONFIG.SYSを以下のように書き換えてください。 MENUITEM=CD20X, IBM CD-ROM Drive CD-20X MENUITEM=DVDP, I-O DATA DVDP-IX4V/IDE(1行追加) MENUCOLOR=2,0

```
-----(途中省略)------
```

[CD20X]

SET PCMPLUS=A:¥

[DVDP] (追加)

「Windows95 始動用ディスケット」内のAUTOEXEC.BATを編集します。

- 9-1 AUTOEXEC.BATを右クリックし、[編集]をクリックします。
- 9-2 AUTOEXEC.BATを以下のように書き換えてください。

a:¥Sleep 3	
goto END	
:DVDP	(以降追加)
LH PCMSS.EXE	
LH PCMCS95.EXE	
LH ADDDRV CDATA.SYS	
LH MSCDEX /D:PCMCD001	
A:¥SLEEP 3	
GOTO END	

「Windows95 始動用ディスケット」内に新規ファイルCDATA.SYSを作成・編集 します。

- 10-1 『スタート』 『プログラム』 『アクセサリ』 『メモ帳』を起動します。
- 10-2 以下の2行を入力します。

DEVICE=A:¥IOIDE16.SYS DEVICE=A:¥IOXD400M.SYS /D:PCMCD001

10-3 メモ帳の[ファイル(<u>F</u>)] [名前を付けて保存(<u>A</u>)...]をクリックします。
 表示された画面で " ファイル名 " に

A:¥CDATA.SYS

と入力し、[保存]ボタンをクリックしてください。

Windows95を"コンピュータの電源を切れる状態にする"で終了し、パソコン本体の電源を切ります。

「バックアップCD-ROMについて」に従って、作業を進めてください。

Windows95の再セットアップをする前にパソコンにDVDP-IX4V/IDEを接続 してください。

「Microsoft Windows 95 Setup Menu」では「4. I-O DATA DVDP-IX4V/ IDE」を選択してください。

「コピー完了」の画面が表示されたら、付属のPCカードを抜いてください。

日本IBM ThinkPad 560Z (モデル 2640-9YJ)

注意

再セットアップを行うには、「Recovery CD-ROM Boot Diskette」が必要です。 <u>また「Recovery CD-ROM Boot Diskette」はバックアップをとり、バックアップ</u> <u>ディスクをお使いください。</u> バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照 してください。

Windows98を起動します。

フロッピーディスクドライブに「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を挿入しま す。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』を クリックしてください。エクスプローラが起動します。

任意のドライブ (ハードディスク等)に"IODVDP"フォルダを作成します。

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」内の

IOIDE16.SYS

IOXD400M.SYS

を で作成した"IODVDP"フォルダヘコピーします。

____注意

[エクスプローラ]の[表示] [フォルダオプション] ([オプション]) 内の、" ファイルの表示"を"すべての ファイルを表示"にしてください。

フロッピーディスクドライブから「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」を抜き、 「Recovery CD-ROM Boot Diskette」を挿入します。

で作成した"IODVDP"フォルダを開き、中にあるファイルを[3.5インチ FD(A:)]アイコン上へコピーします。

「Recovery CD-ROM Boot Diskette」内のDRVLOAD.BATを編集します。

8-1 DRVLOAD.BATを右クリックし、表示されたメニューから[編集]を クリックします。

DVDP-IX4V/IDE セットアップガイド

8-2 DRVLOAD.BATの":OBI" で始まる項目を以下のように書き換えてください。

:0B1

rem IBM PCMCIA CD-ROM 20x

@loadhigh %1dynaload %1CARDXTND.SYS >NUL

@loadhigh %1dynaload %1SSCBTI.SYS /numada:2 /ada1skts:2 /ada2skts:2 >NUL

@loadhigh %1dynaload %1CS.SYS >NUL

@loadhigh %1dynaload %1CSALLOC.EXE >NUL

@loadhigh %1dynaload %1CARDID.SYS >NUL

 REM @loadhigh %1dynaload %1PCMCD20X.SYS /1:9 /P:260 /D:PCMCD001 >NUL(REM追加)

 @loadhigh %1dynaload %1IOIDE16.SYS >NUL

 (1行追加)

@loadhigh %1dynaload %1IOXD400M.SYS /D:PCMCD001 >NUL (1行追加)

@call %1MSCDEX /D:PCMCD001 /L:Z >NUL

@if errorlevel 1 goto ERROR

@goto exit

:0B12

rem IBM PCMCIA CD-ROM 400 Series (4x)

▲ <u>注意</u>
必ず ":0BI "の項目に追加してください。

「Recovery CD-ROM Boot Diskette」内のMSGJP.DATを編集します。

- 9-1 MSGJP.DAT を右クリックし、表示されたメニューから [アプリケーションから 開く]をクリックします。
- 9-2 "この種類のファイルを開くときは,いつもこのアプリケーションを使う"が<u>チェック</u> <u>されていない</u>ことを確認し、"このファイルを開くアプリケーション"にNotepadを選 択し、[OK]ボタンを押してください。

```
9-3 MSGJP.DAT内[AMethods] 項目の、
IBMPCMCD = "IBM PCMCIA 20x CD-ROM drive"
の行を、
IBMPCMCD = "I-O DATA DVDP-IX4V/IDE "
に書き換えてください。(以下参照)
[AMethods]
Internal = "Panasonic PCMCIA 20X CD-ROM (KXL-808AN)"
Internal2 = "Hot Swap"
IBMCDROM = "IBM external CD-ROM (Non-PCMCIA)"
rem
IBMPCMCD = "I-O DATA DVDP-IX4V/IDE " (書き換え)
Disctec = "Disctec parallel port CD-ROM"
```

Windows98を"コンピュータの電源を切れる状態にする"で終了し、パソコン本体の電源を切ります。電源が切れた事を確認してから、再起動してください。

「IBM ThinkPad **シリーズ** Product Recovery CD-ROM**の使い方**」に従って、作業を 進めてください。

次のメッセージ

CD-ROM Access Method:

Panasonic PCMCIA 20X CD-ROM (KXL-808AN)

I-O DATA DVDP-IX4V/IDE

IBM PCMCIA 4x CD-ROM drive

が画面の左上に表示されましたら、"I-O DATA DVDP-IX4V/IDE " の左側に ある" "をクリックして赤いマークをつけ、画面下部の [Next] ボタンを クリックしてください。

SONY VAIO PCG-505, PCG-505X, PCG-505EX, PCG-505G, PCG-505GX, PCG-505R, PCG-505RS, PCG-505RX

注意
 再セットアップを行うには、「PCCARD **用起動ディスク**」が必要です。
 <u>また「PCCARD **用起動ディスク**」はバックアップをとり、バックアップディスクを
 お使いください。
 バックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照
 してください。
</u>

Windows98/95を起動します。

パソコンに「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を入れてください。

[マイコンピュータ] [3.5インチFD] [INSTFD]を起動してください。

画面の指示に従って、「PCCARD**用起動ディスク**」にデバイスドライバを組み込 んでください。

INSTFDが終了したら、MS-DOSプロンプトウィンドウを閉じてください。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』をクリッ クしてください。エクスプローラが起動します。

「PCCARD用起動ディスク」内のCONFIG.SYSを編集します。



7-1 CONFIG.SYSを右クリックし、 [アプリケーションから開く]をクリック します。

- 7-2 "この種類のファイルを開く時は、いつもこのアプリケーションを使う" がチェックされていないことを確認し、"このファイルを開くアプリケー ション"にNotepadを選択し、[OK]ボタンを押してください。
- 7-3 CONFIG.SYSを以下のように書き換えてください。

《PCG-505の場合》

REM PRD-150用のドライバ

REM DEVICE=¥CDROM¥CARDMGR.SYS ¥CDROM¥DS436.INI (REM追加)

REM DEVICE=¥CDROM¥PRD150.SYS /D:CDROM001 /P:__DSPMGR (REM追加)

《PCG-505X,PCG-505EXの場合》

DEVICE=HIMEM.SYS

REM DEVICE=EMM386.EXE RAM (REM追加)

DEVICE=BILING.SYS

「PCCARD用起動ディスク」内のAUTOEXEC.BATを編集します。

上意 PCG-505はAUTOEXEC.BATを編集する必要はありません。 読み飛ばしてください。

- 8-1 AUTOEXEC.BATを右クリックし、[編集]をクリックします。
- 8-2 AUTOEXEC.BATを以下のように書き換えてください。

《PCG-505X,PCG-505EXの場合》

A:¥MSCDEX.EXE /D:PCMCD001 /L:G (書き換え)

@ECHO_OFF

REM MSCDEX.EXE の行を加えてください

《PCG-505G,PCG-505GX,PCG-505R,PCG-505RS,PCG-505RXの場合》

A:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:PCMCD001 /L:G (書き換え)

@ECHO OFF

set path=A:¥;A:¥DOS;A:¥SONY

REM MSCDEX.EXE の行を加えてください

これで、再セットアップ用の「PCCARD用起動ディスク」が作成されました。

パソコン本体取扱説明書に従って、作業を進めてください。

東芝 DynaBookSS 3000, 3010, 6000

注意 <u>再セットアップを行うには、東芝にて別売の「DynaBookSSシリーズリカバ</u>(CD起動 <u>FD」が必要です。</u> 詳細は、東芝ホームページ(http://www2.toshiba.co.jp/pc/upgrade/ssrcdfd.Htm) 内の「DynaBookSSシリーズリカバ(CD起動) (他社製外付けCD-ROM ドライブ対応)」 をご覧になるか、「東芝バソコングレードアップサービス係」(TEL:03-3457-8148、 FAX:03-5444-9450)にお問い合わせください。 <u>また「DynaBookSSシリーズリカバ(CD起動)</u>」はバックアップをとり、バックアップ <u>ディスクをお使いください。</u> パックアップの取り方については、本書「バックアップの取り方」(P5)を参照 してください。

また、入手された「SSBFD」のメニュー「サポートCD-ROM(PCカード)一覧の表示」で本製品「DVDP-IX4V/IDE」が無い場合は以下の手順で作業してください。

「リカバリCD起動ディスクA」をセットし、パソコンの電源を入れます。

『初期インストールソフトウェアの復元』メニューから「[1]パーティションの初期化」を選択します。

- 「[1] 32bit FAT」 を選択します。 フォーマットが開始されます。
- 「[6] その他のCD-ROM (PCカード)」を選択します。
- 「[1] CD-ROM ドライブセット」を選択します。
- 「[E] 一覧にない」 を選択します。
- 「DVDP-IX4V/IDE**サポートソフト**」に入れ替え、何かキーを押します。 インターフェイスのドライバがコピーされます。

DVDP-IX4V/IDE セットアップガイド

コピー終了後、以下の様に表示されます。画面の指示に従ってください。

 1)本体の電源を落とします。
 2)フロッピーディスクドライブを本体から取り外します。
 3)CD-ROMドライブセットを本体に装着します。
 4)本体の電源を投入します。
 D:¥>と表示されますので、CD-ROMドライブセットまたはPCカードの 取扱説明書をお読みになり、DOS/Windows3.1(DOS/V用)のインス トールを行って下さい。
 説明書でA:¥と書かれた部分はD:¥に読み替えて操作して下さい。

DVDP-IX4V/IDE(動作モードを16bitモードに設定(P4))をセットし、パソコン を起動させたら、以下を行います。

- ・「COPY D:¥DOS¥IOIDE16.SYS C:」と入力し、↓キーを押します。
- ・「COPY D:¥DOS¥IOXD400M.SYS C:」と入力し、 **ノ**キーを押します。

「C:」と入力し、

「EDIT CONFIG.SYS」と入力し、 4キーを押します。

表示された内容の最後に以下の2行を追加します。

DEVICE=IOIDE16.SYS

DEVICE=IOXD400M.SYS /D:PCMCD001

[ALT]、[F]、[X]の順番にキーを押します。

「'C:CONFIG.SYS'は保存されていません.保存しますか?」と表示されたら、 [はい]を選択し、⁴キーを押します。

「EDIT AUTOEXEC.BAT」と入力し、 **ノ**キーを押します。

表示された内容の最初に次の1行を追加します。(下記参照)

C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:PCMCD001 /L:P

と同じようにし、その後再起動してください。

後はパソコン画面の指示にしたがって、再セットアップを行ってください。

作業例にない機種の場合



Windows98/95再セットアップディスクを作成するためには、パソコン本体に付属 している起動ディスク内の「どのファイルのどの部分を書き換える必要があるか」 を知らなくてはなりません。

パソコン本体付属の取扱説明書を参照されるか、パソコンメーカーにお問い合わせ ください。



【 INSTFDを使用する】

パソコン本体の電源を入れます。

Windows98/95が起動したら、パソコン本体に「**DVDP-IX4V/IDEサポート ソフト**」を挿入します。

[マイコンピュータ] [A:] [INSTFD]の順にダブルクリックします。

画面の指示に従って、**起動ディスク**にデバイスドライバを組み込みます。

INSTFDが終了したら、MS-DOSプロンプトを閉じます。

フロッピーディスクドライブから起動ディスクを抜きます。

[スタート] [Windowsの終了] "コン[®] ュータの電源を切れる状態に する"で終了し、一度パソコンの電源を切ってください。

これで再セットアップ用**起動ディスク**が作成されました。ただし、この ままで使えない場合は、パソコン本体の取扱説明書を参照するか、パソコ ンメーカーへご相談のうえ、起動ディスクの編集を行ってください。 作業が終わりましたら、パソコン本体にDVDP-IX4V/IDE(動作モードを 16bitモードに設定(P4))を接続してください。

以降はパソコン本体取扱説明書をご覧になり、再セットアップを行って ください。

参考

INSTFD により行われること

・デバイスドライバをコピーする(IOIDE16.SYS, IOIDEPE.SYS, IOXD400M.SYS)
 ・CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを書き換える。
 (元のデータはCONFIG.BAKとAUTOEXEC.BAKとして保存されます。)

【2 手作業で書き換える】

パソコン本体の電源を入れます。

Windows98/95が起動したら、パソコン本体に「**起動ディスク**」を挿入 します。

[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [メモ帳]を起動 します。

[ファイル] [開く]をクリックします。

「ファイルの種類」を「すべてのファイル」にします。

「変更するファイル」を開きます。

「変更するファイル」は、パソコン本体付属の取扱説明書を参照される か、パソコンメーカーにお問い合わせください。

開きたいファイルが表示されていない場合

参考

1) [マイコンピュータ]をダブルクリックします。

- 2) [表示]の中の[フォルダオプション]をクリックします。
- 3) [表示]タブをクリックします。
- 4) 「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックをはずします。
- 5)「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示する」を選択します。
- 6) [OK]ボタンをクリックします。
- 7) 手順 から作業を再開します。

以下の2行を必要な場所に追加します。

わからない場合は、最終行に追加します。

DEVICE=IOIDE16.SYS

DEVICE=IOXD400M.SYS /D:PCMCD001

[ファイル] [上書き保存]をクリックします。

MSCDEX.EXEが記述されているファイルを ~ を参考にして開きます。

MSCDEX.EXEの記述行のオプション (/D:xxxなど)を「/D:PCMCD001」 に書き換えます。

[ファイル] [上書き保存]をクリックします。

「メモ帳」を閉じます。

起動ディスクを抜き、「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を挿入します。

『スタート』ボタンを右クリックし、表示されたメニューから『エクスプローラ』 をクリックします。

任意のドライブ (ハードディスク等) に "IODVDP" フォルダを作成 します。

「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」内の

IOIDE16.SYS

IOXD400M.SYS

を で作成した"IODVDP"フォルダへコピーします。

フロッピーディスクドライブから「DVDP-IX4V/IDEサポートソフト」を 抜き、**起動ディスク**を挿入します。

で作成した"IODVDP"フォルダを開き、中にあるファイルを [3.5**インチ**FD(A:)]アイコン上へコピーします。

これで再セットアップ用**起動ディスク**が作成されました。 作業が終わりましたら、パソコン本体にDVDP-IX4V/IDE(動作モードを 16bitモードに設定(P4))を接続してください。

以降はパソコン本体取扱説明書をご覧になり、再セットアップを行って ください。

注意
起動ティスクを使った冉セットアッフが始まらなかった場合は、以下の作業を
行ってから、もう一度再セットアップを行ってください。
起動ディスクから起動し、「Starting Windows98(95)」と表示されたとき
に [F8] キーを押します。
メニューが表示されます。
[F8]キーを押してもメニューが出ない場合は、パソコンメーカーに
「最初に読み込まれるファイル(Config.sys,Autoexec.bat等)を1行
ずつ確認しながら、起動する方法をお問い合わせください。
メニューから「STEP-BY-STEP」を選択します。
最初に読み込まれるファイル(Config.sys,Autoexec.batなど)を1行
ずつ確認しながら、起動できます。
「IOIDE16.SYS」の行で「IOIDE16:カードサービスが常駐していません」と
表示される場合は、次に進んでください。それ以外のエラーが表示される
か何も表示されなかった場合は、以下の内容を弊社サポートセンターまで
ご連絡ください。
・変更したファイルの全ての内容
・起動した際のエラーメッセージ
変更したファイルの「IOIDE16.SYS」を「IOIDEPE.SYS」に書き換えます。
起動ディスク に、「DVDP-IX4V/IDE サポートソフト 」から「IOIDEPE.SYS」を
コピーします。
「IOIDEPE.SYS」が入らなかった場合は、「IOIDE16.SYS」を削除してから
もう一度、コピーしなおします。